

経営系	
講師&テーマ	青山 和正 教授「老舗企業の長寿の秘訣」
講義概要	日本は世界各国と比べ、老舗（長寿）企業の輩出率が極めて高く、創業以来100年、200年以上も持続発展しながら事業を継続している企業が非常に多い。なぜ、100年以上にもわたり顧客との信頼関係を維持できるのか、世代が変わっても事業を上手に引き継いでいけるのか、戦争や災害などのリスクをどのように回避してきたのか、いろいろな疑問を解明する。
講師&テーマ	小川 達也 准教授「①はじめて学ぶ企業の経営」/「②戦略を知れば企業が見える」
講義概要	①身近な企業に触れながら私たちとの関係を考えることで、企業の経営に関心を持ってもらいます。 ②企業の具体的な戦略に触れながら商品に込められた人々の思いを考えることで、企業の事業活動を理解するきっかけをつくります
講師&テーマ	高橋 哲也 准教授「①10年後になくなる職業」/「②楽しく仕事をやりましょう」/「③最近の就職事情」
講義概要	①グローバル化とIT化の影響から10年後には消滅する可能性のある仕事があります。私たちは自分の将来をどのように設計することで幸せに近づけるのでしょうか。 ②ゲームとかスポーツをしていると時間を忘れてしまうことがあります。なぜ、このようなことが起こるのでしょうか。このことを理論的に説明しましょう。そして、皆さんの日常に活かせる方法を考えましょう。 ③ここ数年の就職事情を含めて、今後の将来設計をどのようにしたら良いのか、そのポイントを探りましょう。特にインターンシップが重視される就職活動についてレクチャーします。
講師&テーマ	日野 隆生 教授「サービス産業とは」
講義概要	サービスとは何かを日常生活の中で考えます。そして、サービス業とは、具体的にどんな仕事なのかを学びます。
講師&テーマ	広瀬 盛一 教授「モバイル・マーケティング」
講義概要	スマホを使ったマーケティングについて、身近な事例を取り上げながら、企業がどのようなマーケティング活動を展開しているのか、また消費者が企業のマーケティング活動に対してどのように反応しているのか、様々な角度から考えていきます。
講師&テーマ	深澤 琢也 准教授「コンビニのからくり」
講義概要	ふだん何気なく利用しているコンビニ、皆さんがお店に行くと、いつも欲しい商品が並んでいると思います。これって考えてみるととてもすごいことですよね。なぜなら、お客さんはいつ来店するかも分からないし、何を買うのかも気まぐれです。一体コンビニはどのようにしてこの難しい課題を解決しているのでしょうか？講義では、コンビニに隠された様々な「からくり」についてマーケティング・流通論の視点から皆さんにご紹介したいと思います。
講師&テーマ	藤森 大祐 教授「お買い物で社会を変える」
講義概要	お買い物は基本的に自分が欲しいから買うのですが、それが環境問題や人権問題や貧困問題などにつながっているというのを考えたことがあるでしょうか。お買い物という一人ひとりの行為が積み重なると、社会を変えることにつながっていく可能性があるのです。この講義では、そんなことを身近な例をあげながら考えてみたいと思います。
講師&テーマ	山川 悟 教授「①マーケティングの仕事とは?」/「②身近な商品のパッケージデザイン学」/「③ロゴマークに隠された秘密?」/「④最強の発想法を身につけよう!」
講義概要	①マーケティングの仕事とは、商品開発、営業企画、広告、広報、販売促進、ネット通販…など幅広い領域があります。これらを知ることは経営の本質に触れるばかりでなく、将来の進路の展望を持つことにつながるはずです。 ② パッケージとは単に商品を包むものではありません。そこにはさまざまな機能やデザイン、売るため使うための工夫が込められています。コンビニでも買えるような身近な商品から、企業の考え方・戦略を探ってみましょう。 ③ 企業や商品のロゴマーク。そのデザイン費用は、数千円に及ぶこともあります。ロゴマークに込められた企業や経営者の思い、そして企業のビジョンなどを考えてみましょう。 ④ ビジネスにおいてアイデアを出すときには、きちんとした方法やルールがあります。発想法ワークショップを体験し、多様な角度から物事を考える習慣を身につけましょう。
講師&テーマ	渡辺 泰宏 准教授「①経営学って面白い!〜ドラッカーに学ぶ経営学〜」/「②チームを作るといって協働とはなにか〜」
講義概要	①日本で人気の経営学者であるピーター・ドラッカーはマネジメントの父とよばれています。彼の思想や学説をひもときながら、経営学はどのような学問なのかを学びます。経営学の世界をのぞいてみましょう。 ②文化祭や学園祭、日々の部活動など、人びとがうまく協力すると大きな成果を成し遂げることができます。経営学ではそれを「協働」とよびますが、チームを作りそれを動かしていくには何が必要なのかいっしょに考えてみましょう。

会計系	
講師&テーマ	石塚 一彌 教授「①会計ってなあに?」/「②粉飾決算にみる会計監査」/「③税務実務基礎」
講義概要	①会計って結局どのようなこと…何の役に立つの?会計の基本的な部分をお話いたします。 ②粉飾決算ってなんだろう?なぜ会計監査って必要なの?TVで良く聞くキーワードを分かりやすく解説いたします。 ③税金ってなぜあるの?…なぜ色々な税金(消費税、相続税etc.)があるの?税金まつわるお話を丁寧にしていきます。
講師&テーマ	土井 充 准教授「大学における簿記会計教育と、将来就ける仕事との関係について」
講義概要	簿記・会計とはどのようなものなのか?また、大学では簿記論・会計学をどのように勉強しているのか?そして、大学でそれらを勉強することで、将来どのような仕事に就くことができるのか?こういった様々な疑問や質問にお答えしていきます。
講師&テーマ	福山倫基 准教授「ゲームではじめる簿記会計」
講義概要	様々なタイプの高校生に、会計学の中でもとりわけ簿記に関して興味を持ってもらう講義を行います。商学タイプの大学進学率を上げたい高校向け。内容例として、ゲームを用いた簿記入門のためのアクティブラーニング(文系学生向け)や、状態遷移図を用いた簿記入門講義(理系向け)があります。

経済系	
講師&テーマ	清水 良樹 専任講師「大学進学の「価値」を経済学を使って測る」
講義概要	あなたはなぜ大学へ進学するのですか?4年間もの長い期間、大学で学ぶことにはどれだけの「価値」があるのでしょうか?経済学における機会費用の概念を使って大学で学ぶことの「価値」がどれだけあるのかを説明します。日本の雇用環境の現状も解説しますので、みなさんの進路の参考にしてください。
講師&テーマ	松田 岳 准教授「①一生の間に、どれだけおカネが必要なのか?」/「②お金の95%は「現金」ではない」
講義概要	①人生80年。高校生の皆さんはまだ人生の第一コーナーの手前です。ここまでは保護者の方と二人三脚で歩んできましたが、人生の3/4は自分の力で生きていかなければなりません。残り60~70年の人生を生きるのに、どれだけのおカネが必要なのでしょうか? 自立した大人になるために、おカネについて学んでみましょう。

法律系	
講師&テーマ	隅田 浩司 教授「①法律が現実社会にどのように活用されるのか?」/「②交渉学とは?」
講義概要	①具体的な判例や事件をベースに、法律が現実の社会のなかでどのように活用されているのかを講義いたします。なお、具体的事例に基づいて受講生に考えさせ、あるいはディスカッションさせながら講義するアクティブ・ラーニングスタイルです。 ②交渉学教育するプログラム・コンテンツです。ネゴシエーションの基礎から学んでいきます。
講師&テーマ	長岐 郁也 准教授「日常生活における法律問題など」
講義概要	今年から18歳以上に投票権が与えられることになるけども、成人する年齢も18歳になったらどうなる?日常生活の中では意識はしなくても毎日のように法律に関わることは行っているらしいけど、どういうこと?

心理系	
講師&テーマ	伊波 和恵 教授「①心の健康メンタルヘルスとは? / 「②アニメに見る家族関係」 / 「③教養としての心理学」
講義概要	①『職場と健康心理学』『産業カウンセリング』で扱うメンタルヘルス(心の健康)について、ストレスチェックや対処方法などを中心に解説する。 ②社会の最小単位である家族を組織として捉えたとき、どのような構造的・機能的特徴があるのか、『ちびまる子ちゃん』『サザエさん』等を題材に、カウンセリングの観点から解説する。 ③約150年前、哲学から分岐した心理学には、思案的な考え方と実証科学的な考え方がある。前者の代表格である精神分析理論について、『エヴァンゲリオン』等の作品を例に解説する。文学・美術からアニメに至るまで、様々な芸術作品をもっと楽しめるヒントが隠されている。
講師&テーマ	浮谷 秀一 教授「①IQとEQ / 「②性格と県民性」
講義概要	①IQ(Intelligence Quotient)とは知能指数のことであり、一般的に頭の良さとか学業成績が高いことと理解されています。そして、このIQが高ければ人生で成功を収めることができるとさえいわれています。しかし、IQが高ければ誰でも人生での成功を勝ち取っているのでしょうか。そうならないことがあるでしょう。それはなぜかと考えた時に、EQ(Emotional Quotient)という感情知能指数が関わっていることがわかってきました。EQとは、(1)自分の感情を知ること(2)自分の感情をコントロールすること(3)他者の感情を知ることが主な内容です。IQを高めることはかり考えるのではなくEQを高めることが重要だということを解説します。 ②環境の違いが「県民性」を生み出しています。その県民性の起源は、民族性の地域差、すなわち『地方性』の研究書である『人国記』です。その書は、機内五国、東海道十五國、東山道八國、北陸道七國、山陰道八國、山陽道八國、南海道六國、西海道九國の六十六州に分割して解説しています。この分割は時代とともに変わってきていますが、その分割の現在版が「都道府県」です。この「都道府県」にみられる特徴を「県民性」と称しています。 その県民性と性格との関連を解説します。県民性の一側面である「方言」についても考えてみます。
講師&テーマ	佐藤 恵美 准教授「無料クーポン券について考えながら経営心理学を学んでみよう。」
講義概要	皆さんは、フリーペーパーなどのクーポン券を使ったことがありますか?消費者にとっては、無料でお得なサービスが受けられるので、とてもお徳。では経営者側にはどのようなメリットがあるのでしょうか?心理学における学習理論から人間の行動を科学的に解説し、経営活動における心理学を理解しましょう。
講師&テーマ	松田 美登子 教授「発達障害を持つ学生の支援」
講義概要	日本学生支援機構の2014年度全国調査では、発達障害の数を2,722人と報告している。2016年度より、差別解消法として大学への「合理的配慮」が義務づけられる。大学での支援の現状について講義する。

イベント系	
講師&テーマ	大山 利栄 准教授「①日本におけるイベントの歴史とこれからの可能性」 / 「②イベントと興行」
講義概要	①普段からよく使われる「イベント」という言葉。2020年に東京で行われるオリンピックのような国家的なものから、ハースデーパーティーやグループの集まりといったプライベートなものまで、私たちは日常的に「イベント」という言葉を使っています。そもそもいつから「イベント」は行われるようになったのでしょうか?日本におけるイベントの歴史を紐解き、そしてこれからのイベントはどのように変わっていくのかを検証します。 ②イベントというのを思い浮かべますか?ライブコンサートや夏の音楽フェス?それともリーグやオリンピックのようなスポーツイベントでしょうか。私たちの言うイベントとは、ある目的を達成するためにイベントプロデューサーが全体をコントロールし、音響や照明、映像といったテクニカルパートや演出家や運営スタッフなど各パートのプロフェッショナルと共に作り上げていくものをさします。ここではイベントと興行の違いについて解説していきます。
講師&テーマ	志塚 昌紀 専任講師「①驚きと感動を与える!イベントアイデア発想法」 / 「②アニメ、マンガで町を元気に!?地域活性化イベントの今」
講義概要	①イベントが提供するものは、これから実現するかもしれないちょっと先の未来です。そのため、イベントを企画する上では、これまで経験したことのないようなサプライズを生み出すアイデアや、創造性が求められます。授業では、イベント 企画の発想法を学習するとともに、皆さんと一緒にイベントアイデアづくりにチャレンジしてもらいます。 ②アニメやマンガ、ゲームといったサブカルチャーは日本が世界に誇る新しい文化となりつつあります。そして現在、こうした新しい文化を通じて、地域を活性化していくこととする動きが全国各地で見受けられています。授業では、こうしたサブカルチャーを活かした地域活性化イベントの取り組みに注目、紹介をしていきたいと思います。

教養・語学系	
講師&テーマ	阿部 牧子 教授
講義テーマ	入試問題から文化の違いを考える
講義概要	「Life is like a box of chocolate. ()」カッコに入れる英文を、自分で自由に考えて作りなさい。 また、全体ではどのような意味になるのか説明しなさい。これは、ある私立中高等学校の入試問題です。自由な発想をみる試験でもあるので、正答はひとつではありません。カッコに入る原文は、日本で生まれ育った受験生にはなかなか理解できない発想です。なぜでしょうか。

講師&テーマ	井上 良雄 教授「①今日から使える、チョー簡単中国語」 / 「②おもてなしの中国語会話」 / 「③中国語カラオケ講座」
講義概要	①「こんにちは」、「さよなら」、「ありがとう」、「もちろん」、「えっ、マジ!」、「愛してる」、「AKBで誰が好き?」なんて中国語で言ってみよう。難しくありません。理屈も要りません。私のまねをすれば、ばっちり通じるのです。中国語が喋れたら、ちょっと自慢、自信が持てます。時間が許せば、日中の漢字の違いや、面白雑学もお話ししましょう。テレサ・テンの中国語曲歌唱指導までいけるかな。/他2件

講師&テーマ	鬼木 一直 教授「情報の活用の仕方」
講義概要	情報化社会と言われる中、情報はスマホで簡単に手に入れられるようになりました。しかし、情報を有効に活用することは容易ではありません。本講義では、情報の検索の仕方から情報の活用の方法まで、いろいろな例を交えながらわかりやすくご説明いたします。

講師&テーマ	木村 直樹 専任講師「①楽しく学べる高校英語:「Let it go」はなぜ「ありのまま」になるのか? / 「②日本語から英語を見る①:情報となわばり」 / 「③日本語から英語を見る②:主語と一致」
講義概要	①テレビCMや映画などでおなじみの身近な表現を題材として、英語に隠された秘密とその高校英語との接点についてわかりやすく解説します。英単語の効率的な覚え方や英文法の捉え方、スムーズな発音の仕方などにも触れる予定です。 ②「あそこにいる彼、あなたの知り合いでしょ?」は普通の表現ですが、これを「あそこにいる彼、あなたの知り合いです」にすると途端に不自然な表現になります。これは話し手と聞き手にとって、共有されるべき情報がどちらに近いのか(これを「情報のなわばり理論」と呼びます)で説明することができます。この講座では、話し手と聞き手の間に介在する情報の距離が日本語と英語の両方に当てはまることを見た上で、日本語の文末表現と英語の助動詞の仕組みが驚くほど類似していることを解説します。英語と日本語が必ずしも全くの別物ではない、ということがわかれば、英語の学習に対する見方も少し変わってくるかもしれません。※この講座がカバーする高校英語の単元は「文型」「時制」「助動詞」の3つです。 ③英語では「I have a gift for you.」「He has a gift for you.」のように、主語の人称・数に応じて動詞の形が変化します。これは「一致」と呼ばれる現象で、日本語にこの現象が存在するかどうかは長らく議論的でした。ところが最近の研究では、どうやら日本語にも「一致」が存在すると考えた方がよいのではないかと、という向きに徐々に傾きつつあります。この講座では、まず日本語の敬語表現と形容詞述部に対応する主語の振る舞い方、および古文の「係り結び」を概観した後、日本語と英語の一致に関する類似点を検証します。また、日本語と英語の文頭付近は「主観と話題性」という概念で一括りにできることを解説し、私たちが普段使っている日本語と、学校で学ぶ英語とが、実は共通の仕組みで成り立っていることを説明します。 ※この講座がカバーする高校英語の単元は「(第4・第5)文型」「副詞・形容詞」「疑問」「倒置・特殊構文」の4つです。

講師&テーマ	塩谷 由美子 教授「大学での学習に必要な日本語」
講義概要	大学で求められる日本語能力について、経営学部のテキスト、レジュメ、レポートなどを実際に提示して大学での学習をより具体的にイメージできるように説明し、入学準備として何が出来るかを提案します。

講師&テーマ	田島 外志美 准教授「①障がい者スポーツの現状」 / 「②手話入門」
講義概要	①障がいをもつ方のスポーツを知ろう。様々な障がいがあっても、健常者同様、スポーツを楽しむことが出来ます。少しの工夫をすることで実践できるスポーツを紹介しします。 ②手話は音声言語と同等の言語として世界で認められています。多様なコミュニケーション方法の一つとして、手話を学んでみましょう。障がいを理解し、優しい社会への一歩を作りましょう。